

組合員数116,408人  
支部数 930  
読者数 75,294人  
(5日現在)  
(連絡先) ☎03(5978)2751 FAX03(5978)2777  
E-mail/honbu@nenkinsha-u.org  
ホームページ/年金者組合と入力し検索して下さい。



第333号 2017年9月15日(金)  
(通巻第532号)  
全日本年金者組合中央本部  
〒170-0005東京都豊島区南大塚1-60-20天翔大塚駅前ビル  
発行人 富田 浩康 月刊1部100円(組合費を含む)  
昭和57年6月30日第三種郵便物認可

# 国際世論の勝利 核禁止条約 日本政府は署名を



長崎大会参加者で開いた年金者組合員の交流の集いと、被爆体験を語る森内さん(右の円内)

## 心打つ森内實さんの被爆体験 長崎で「年金者交流のつどい」

核兵器禁止条約が国連で122カ国の多数で採択されるという新しい歴史のなかで開かれた今年の原水爆禁止世界大会長崎は(8月7~9日)、国際機関を含めて22カ国から95人の代表が参加しました。

年金者組合は8月8日、分科会を終えた午後3時半から「年金者組合員交流のつどい inナガサキ」を長崎市民会館で開き、金子民夫中央執行委員長など38人の参加

で、交流と学習を行い、森内實さん(年金者組合員・長崎県被災者協議会副会長)から被爆体験を受けました。

参加者は核兵器禁止条約を力に条約に署名できる政府をつくり、平和で公正な世界実現へ、各地で運動を強めることを誓いあいました。



## 宇宙の核軍事化防止で一致

インド鉄道労組退職者組合役員ジャム・ナラヤナ・ラオさんが8月1日、年金者組合中央本部を訪れ、両国の年金制度・年金水準などについて懇談・交流しました。

「宇宙空間における兵器及び原子力に反対するグローバルネットワーク」の理事でもあるラオさんは8月7日の長崎のつどいでは4人の執行議長として大役を果た

インドから原水禁大会に参加

たしました。

懇談では、米国のイラク侵略や、アフガニスタン、パキスタンで多数の市民を殺害した無人飛行機は、米国内の基地にあるコンピューター端末装置で、衛星技術を利用してミサイル攻撃であると指摘しました。

さらに、アジア・太平洋地域でPAC3やTHAADミサイル防衛計画が、北朝鮮封じ込め策で

## 親戚6人次々に亡くなる

長崎に原爆が落とされたとき、私は8歳で爆心地から4・8キロ離れた長与村に住んでいました。近所の大きな木に登っていたら、太陽が爆発したかと思うほどピカッと光り、ドーンとものすごい音がして、地面に伏せて起き上がると、異様な黒い雲が空高く上がって

亡くなりました。まず、伯母(母の姉)が5歳の子の手を引き、3歳の子をおぶってたどりつき、立ちつくしました。母が赤黒く焼けた子を見て「その子をおろさんとね」というと、伯母は「も

うこの子は死んだ。水、水、水と3回言うまでは生きていたが、水も飲めずに死んでいった」といいます。

私が一番好きだった医大生のいとこは「家の下敷きになったが傷をひとつ負わなかった」のですが、日に日に弱って水も飲めなくなり、最後は汚本は参加しませんでした

にふき取ってあげたことでした。

私も下痢とひどい嘔吐に苦しみました。どうか生きのびました。しかし被爆者は結婚、就職などでさまざまな差別を受けてきました。

最後に私が訴えたいのは、核兵器禁止条約に日本が、被爆国の日本こそ先頭にたつてアメリカなど核保有国を説得し禁止条約を進め、核廃絶を目指すべきだということです。そのため、私たち被爆者は体験を語り、先頭にたつてがんばりますから、皆さんも奮闘されるようお願いいたします。

軍事拡大を正当化しつつ、軍事衛星利用は地域的攻撃的戦略の主要要素にも頭張りましようと思

に反対し、軍事予算削減、新兵器導入中止、宇宙空間軍事化の防止にも頭張りましようと思

流しました。

(副委員長・加藤益雄)

ラオさん(前列中央)と懇談した金子委員長(右)ら中央本部役員となつていま

核保有国と核の傘の下にある国々への条約批准の圧力を強めるとともに、アメリカの「ミサイル防衛」システムの配備に反対し、



が、被爆国の日本こそ先頭にたつてアメリカなど核保有国を説得し禁止条約を進め、核廃絶を目指すべきだということです。そのため、私たち被爆者は体験を語り、先頭にたつてがんばりますから、皆さんも奮闘されるようお願いいたします。

## 風雪

◆25年ほど前、防衛庁(当時)元高官にインタビューした。その時「非の打ちどころがない青年だったが北海道に任んでいたのが、満洲引き揚げ者として娘との結婚を認められなかった」という投書が話題になった。

◇「80年代のソ連の北海道侵攻説は全くのデマ。自衛隊がソ連軍迎撃の演習をした時、米軍は『ありえない想定』と参加しなかった。政府が軍事予算増額のため危機をあおりたてるから、気の毒なことでも起こる」と元高官は吐き捨てた。

◆安倍首相の「深刻かつ重大な脅威」発言もあり、北朝鮮ミサイルの避難訓練が行われている。しかし、ミサイルはどこに飛んでくるか、安全な場所はどこかを指示できる人はいるのだろうか。

◇万が一、北朝鮮がミサイルを撃ったら日本には8分後到達する。8分どこに逃げられる。避難訓練より政府に平和的解決を求めるというのは当り前ではないか。

# 採択運動へ大きく踏み出そう

年金者組合はこの秋、

マクロ経済スライド(2018年4月)、年金額改定新ルール発動をさせない運動として、1742全自治体議会での「若い人も高齢者も安心できる年金制度を求める意見書」採択の運動に取り組みます。

「マクロ経済スライド」は廃止すること④全額国庫負担の「最低保障年金制度」を早期に創設すること。また、「新年金署名」活動をいっそう強めるとも、地域の社会保障団体、労働組合、青年・女性・高齢者団体、町内会と懇談し、宣伝など共同行動を広げていきます。

でも取り組めた、「国会請願運動も大切だが、地元議会への請願運動は年金運動が身近になる。地域の住民の声を直接反映するものでやりがいがある」などの積極的な声が寄せられています。

また、この運動の中で「しろさと支部」と「坂東準備支部」が生まれました。未請願12自治体については引き続き取り組みを進めていきます。(近澤重男)

## 若い人も高齢者も安心できる年金制度を求める意見書

### 茨城 32市町村議会に請願 採択9件など大きな成果

この意見書は岩手、宮城両県議会、静岡県島田市などで採択され、茨城県ではこの春大きな成果を上げています(記事別掲)。この取り組みとあわせて自治体の首長、議員との懇談活動・要請行動を行います。

茨城県本部は5月から6月にかけて全県32市町村議会に、年金の毎月支給開始年齢引き上げ反対、マクロ経済スライド廃止などを求めて、住民署名や議員要請を行い、いっせいに請願、陳情に取り組みました。結果は採択9件、不採択14件、継続審議7件、未討

議2件でした。採択は次の通りです。「毎月支給」鹿嶋市、土浦市、筑西市、結城市、古河市、坂東市、八千代町、五霞町。「マクロ経済スライド廃止」鹿嶋市、土浦市。

8月24日、鹿児島市で第31回鹿児島県高齢期をかんがえるつどい開催

### 第31回鹿児島県高齢期をかんがえるつどい開催

このつどいには、年金のあらゆる世代が「年金には無関心ではいけない」という状況であり、年金裁判への支援が大きな目的です。日本銀行の世論調査でも

国民的な運動にしていくために、宣伝・署名活動をさらに強めていく必要がありま

など4団体主催)が開かれ、250人が参加しました。開会に先立ち、年金者組合のうた「ええ愛の家35人が、タンポポ」を歌い、

たかひや、「辺野古に新基地を造らせない県民集会」を紹介し、「沖繩のわれわれはあきらめない」が県民の意思であり、名護市長選、沖繩県知事選の勝利、総選挙での「オール沖繩」の勝利を目指して奮闘する決意を表明しました。

年金裁判は全国43都道府県で4810人が提訴し、39地裁で口頭弁論が行われるという日本の社会保障運動でも歴史的な訴訟となっています。この秋から来年にかけてはそれぞれ立証活動が予想されるという重要な状況です。

年金裁判は「政策形成訴訟」であり、年金問題を国民

「老後生活に不安」の人は約90%で、「非常に心配」は約45%、90年代前半の約15%の3倍です。「年金ではゆとりがない」と答えた人の理由は「年金支給額の切り下げ」が

大きく広がる状況にあります。10月に配布する「学習資料」冊子を使っての学習を全支部で取り組んで、裁判運動を年金者組合の「身内」の運動から、若者・現役世代も参加す

る国民的な運動にしていくために、宣伝・署名活動をさらに強めていく必要がありま

つどいは、「だれもが安心して暮らせる社会をめざす」「核兵器禁止条約の日本の参加を求め、ヒバクシャ国際署名をひろげる」「立憲主義を守り日本国憲法がいきる社会をめざす」など、5項目のアピールを採択しました。

### 年金裁判・いよいよ正念場 国民運動として発展させよう

年金裁判は「政策形成訴訟」であり、年金問題を国民

大分県など「年金裁判を支援する会」の結成が進んで

集会参加者から、新年金署名142筆が寄せられました。

(写真は、あいさつする丸野武人鹿児島県本部委員長)



年金裁判は「政策形成訴訟」であり、年金問題を国民

大分県など「年金裁判を支援する会」の結成が進んで

集会参加者から、新年金署名142筆が寄せられました。

(写真は、あいさつする丸野武人鹿児島県本部委員長)

## 声 明 (受給期間短縮について)

全日本年金者組合 中央執行委員長 金子民夫

2017年8月1日から年金を受けるために必要な保険料を支払う期間「年金受給資格期間」が25年から10年に短縮されま

# 120人の参加で盛況

## 愛知

### 第25回平和を語るつどい



今年で25回の遺品がずらりと並び、目を迎える平和を語るつどい。参加者の目を引く貴重な思い出を含む軍服や、手紙、目をおおいたくなるような写真や沖繩の今を写真に収めたものまでが展示され参加者の関心をおおいにかきたた内容でした。プログラムは女性コーナーと戦時中

ラスで始まり、梅北政義書記長があいさつに立ち平和を語るつどいが幕を開けました。1部はドキュメンタリー映画「沖繩戦」の鑑賞。沖繩戦のすさまじさに参加者の皆さんも二度と戦争をさせない思いを強く刻んだ記憶に残る映画でした。

### 館林・邑楽平和の集い

語り継ぐ重要性を再認識



2日目の午前は、敗戦間際の8月5日であった前橋空襲を扱った『時計は生きていた』の映画を上映。当時の教職員組合の方が苦労して創った映画です。多くの人が感動すると同時に、戦争の恐ろしさを肌で感じる企画でした。

7月23日に開催された富山県母親大会の記念講演はジャーナリストの西谷文和さんの「テロも戦争もない世界」で、映像から戦争がリアルに伝わってきました。

2部は特別報告として平和委員会から横江氏をお招きして「国連核禁止条約会議」のお話をしていただきました。日進支部から群読「沖繩の詩」を、また沖繩民謡を名古屋の繁華街でお店を開いている大城さんの三線にのせて迫力のある歌声が会場いっぱい響き渡り、最後は「かけがえない人生」の全員合唱で幕を閉じ、楽しくも心に残るつどいを終了しました。(大鶴孝幸)

8月5・6日の二日間、平和を語りつぐ催しが開かれました。主に3部門からの企画が展開されました。

2日目の午後は、敗戦間際の8月5日であった前橋空襲を扱った『時計は生きていた』の映画を上映。当時の教職員組合の方が苦労して創った映画です。多くの人が感動すると同時に、戦争の恐ろしさを肌で感じる企画でした。

2日目の午後には、戦争体験者のお話。500キロ爆弾の暴風で生き埋めになった体験や、特高に不当な取り調べを受けた体験が語られ、改めて平和の大切さ、そして若い人たちに語り継ぐ重要性があるとの思いを強くしました。別室に展示されたパネルを含め、昨年の企画をさらに豊にした素晴らしい取り組みでした。

「ヒバクシャ署名」取り組み強める

年金者組合は世界すべての国の核兵器禁止条約締結に向けて、「ヒバクシャ署名」用紙を増刷し取り組みをさらに強めます。

## 戦争の悲惨さを忘れない

### 平和のための戦争展

8月12〜15日、福島駅西口の「ラッセふくしま」で「2017ふくしま平和のための戦争展」が開催され、連日多くの市民や観光客が訪れました。

今回の特集は「一兵士が写した侵略戦争 村瀬守保氏撮影写真」展示です。村瀬氏は1937年に招集され、天津、北京、南京、徐州、漢口、青島、山西省、ハルビンなどを

「学徒動員労働員」され、福島市や郡山市、日立市などの軍需工場で働かされた記録や写真が展示されています。

盛り上がった平和展

500点の物品と資料展示

多くの来場者がありました。

「ヒロシマのある国で」などを歌ってくれたトレインズの皆さん、本藤さんなど、たくさんの方々の出演・奮闘、約500点の物品と資料展示で盛り上がった平和展でした。

## 17年度 都道府県本部4役

- ◆北海道本部○委員長・渡部務○副委員長・菅原章子、平川敏雄○書記長・紺谷明史
- ◆秋田県本部○委員長・大坂谷邦雄○副委員長・工藤勝政、高田博、沼倉泰佐、松田康子、渡部利雄○書記長・渡部雅子○書記次長・武内将廣、前田房枝、八幡宏志
- ◆岩手県本部○委員長・山田勝哉○副委員長・宮手毅、小砂子欣次、柳原小百合、八重樫一郎○書記長・鈴木壬午郎○書記次長・富岡弘子
- ◆福島県本部○委員長・佐藤征司○副委員長・安斎洪基、遠藤孝子、佐藤孝夫、杉本邦明、治田孝三、増子善七、渡辺邦恵○書記長・安斎通○書記次長・大内英明、山内マサ子
- ◆宮城県本部○委員長・宮野賢一○副委員長・阿部吉男、佐々木治代、平良實、高橋紀夫、橋浦秀知○書記長・芳賀芳昭○書記次長・加賀谷嘉範
- ◆茨城県本部○委員長・近澤重男○副委員長・森田秀人、高橋泉○書記長・鴨志田強○書記次長・渡辺輝夫、大橋詔子
- ◆栃木県本部○委員長・楢山正○書記長・野口要
- ◆埼玉県本部○委員長・宇佐美忠利○副委員長・生澤壮介、小倉洋一、河村勝子、佐々木長○書記長・首根啓維○書記次長・磯前ひろ子、島田由律
- ◆山梨県本部○委員長・山田和民○副委員長・石川昇、桜井博子、小林義次、小室幹男、竹田昌宏○書記長・白井治夫○書記次長
- ◆新潟県本部○委員長・稲葉正美○副委員長・藤田孝一、神原一子○書記長・上地源光○書記次長・須田一彦、石崎マツイ、五十嵐フ子
- ◆石川県本部○委員長・北野春男○副委員長・岩原和子、北川進、橋建次、寺越博之、山本信治○書記長・木村吉伸○書記次長・小倉恵美、吉田六郎、小林稔
- ◆長野県本部○委員長・北澤忠○副委員長・戸沢一雄、藤沢満雄、増沢昌明、松澤秀紀○書記長・菅田敏夫
- ◆愛知県本部○委員長・伊藤良孝○副委員長・荒川利貴夫、小室勲、茶谷寛信、西岡久男、加藤瑠美子、渡辺博子○書記長・梅北政義○書記次長・大鶴孝幸、山森哲夫、渡辺文人
- ◆大阪府本部○委員長・加納忠○副委員長・伊藤一正、橋本広子、三崎英規、村崎秀子、織部慶○書記長・長坂民雄
- ◆和歌山県本部○委員長・中谷吉治○副委員長・根来修一、武内正次、辻耶須美○書記長・深谷登○書記次長・堀口恒夫、石垣保、実森やよい
- ◆徳島県本部○委員長・井上尚○副委員長・笹山聰子○書記長・松田文雄○書記次長・伊豫谷津多子
- ◆愛媛県本部○委員長・湯上一英○副委員長・川口一夫、富永和子、池本猛、山本重厚○書記長・中尾寛○書記次長・矢田泰彦
- ◆高知県本部○委員長・小橋通○副委員長・尾原明広、樫原正彦、畑山佳代○書記長・馬詰武